



小学校

## 英語活動ニュース

<http://oesesactivity.web.fc2.com>

## 平成26年度英語活動開始

「大阪狭山小学校英語活動支援の会」が平成22年4月に発足して以来5年目を迎えています。

4月に今年度担当する支援者と共に学校へ挨拶にうかがいました。その折、早速翌日から来てほしいとの依頼をいただき、英語活動の授業に当初から入らせていただいた学校があります。例年通り、学校行事の関係もあって5月からというところもありました。

指導形態として英語活動担当の先生が授業をする学校、担任の先生が授業を展開する学校、中学校の英語担当の先生が小中連携を目標に小学校に入るところなどがあります。支援者も2学年を一人で担当する場合や1学年に二人が担当するところもあります。

このように形態は様々ですが、大切にしたいことは

「英語を使って楽しい授業を展開すること」

「多くの児童が英語を使うコミュニケーションの体験をすること」

「様々な教材、教具を使って外国の文化を理解し、興味を持ち、学ぶ意欲を培うこと」  
だと考えます。

これらの目標を達成するためには、英語活動を担当する先生と支援者・ALT間の連絡・連携をしっかりと行っていかなければなりません。

特に、教材作りではすべての先生方のご協力を得て楽しいものを先生方と一緒に作っていききたいと思います。

### 学習指導要領 外国語活動の指導における具体的事項に

「授業の実施に当たっては、ネイティブ・スピーカーの活用に努めるとともに、地域の実態に応じて、外国語に堪能な地域の人々の協力を得るなど、指導体制を充実させること。」と記されています。

私たちは英語活動の支援者として力量を高めるために、毎月の例会において英語活動のレッスンプランを検討し、子どもたちが戸惑うことのない段階的な指導方法の工夫、必然性を持った発話を促す活動の取り入れ方などを会員がデモ授業を行いながら研修しています。

また、小学校英語教育学会（JES）の研修会を始め、各種団体が実施する研修会の情報を集めながらそこに参加して他市の実践を通して指導方法を学んでいます。

今年度も外国語活動の目標を達成するために先生方としっかり連携し笑顔がいっぱいの英語活動の時間にしていききたいと思います。

## 平成26年度の行事予定決定

5月11日(日)に支援の会総会を開催し本年度の行事予定を決定しました。

今年も活動の中心は、会員間の意思疎通と相互のスキルアップを図ることを確認しました。そのために月に一度の例会において、全会員がレッスンのデモ授業を行い、**Team Teaching**の工夫や楽しい活動の紹介などを提示しあいます。

(右の写真は桃太郎教材の扱いを研修中)



### イベントとして

1. 英語活動に興味のある市民や小学校の先生を対象とした「小学校英語活動の基礎から応用まで」と題した講座と、すでに取り組んでおられる先生方を対象とした「英語活動においてどのような **Activity** をどのような場面で展開するか」の講座の二つを開いてまいります。
2. 高学年児童を対象に「市民ふれあいの里」において『英語ディキャンプ』を8月5日(火)に実施します。今年も複数の外国人指導者の応援を得て楽しい行事にしております。参加募集は例年通り7月1日から受け付けます。詳しくは大阪狭山市広報をご覧ください。
3. 幼児、低学年児童を対象に平成27年3月に『英語絵本の読み聞かせ会』を開催します。詳しくは追ってお知らせします。

## 英語絵本の読み聞かせ会(26年3月実施)

3月22日(土)に「英語絵本の読み聞かせ会」を大阪狭山市立公民館において開催したところ21人の幼児・児童が参加してくれました。2歳児未満の幼児の申し込みをいただきましたが、行事参加ではなく見学をしてイベントを楽しんでいただきました。英語学習への関心が高くなっていることを実感しました。

**Matthew**さんと支援の会スタッフの指導による風船バレーなどの室内ゲーム、手品、英語絵本の読み聞かせ、紙芝居、歌やダンスなど10個のプログラムを1時間30分にわたってみっちり楽しんでいただきました。開会当初は緊張していた子供たちも終わりの集合写真ではニコニコ笑顔でいっぱいでした。来年の3月にも開催する予定です。





## 平成26年度 ALT との打ち合わせ会

6月から各小学校に派遣されるナイジェリア出身のJudeさんとの打ち合わせ会を教育委員会尾島指導主事、支援の会会員(一部)とで開催しました。自己紹介の後、尾島先生から外部人材を活用について学習指導要領を基に説明され、さらに学校に入るための心構えを話されました。

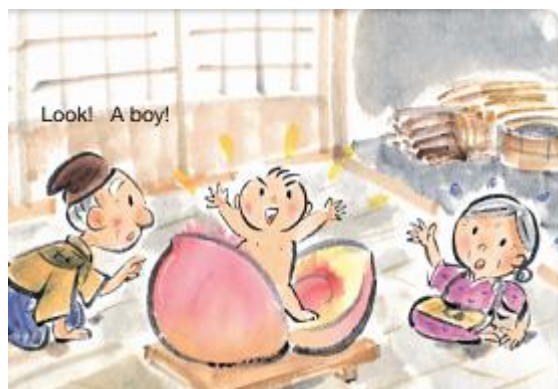
石井理事長からは支援の会の取り組みの概要を説明し、各会員からは学校のクラス数や時間割などを説明し、その後Judeさんの趣味やナイジェリアの言語などについて話を伺い、交流しあいました。

Judeさんは、とても明るくて穏やかな方で今後の各学校での英語活動の授業が楽しみになりました。



## 『桃太郎』教材の扱いについて

昨年、東小学校6年生がユニークな取り組みとして「おむすびころりん」の英語劇を行い児童たちが一生懸命にセリフを覚え演じ、見る人たちに大きな感動を与えてくれました。



『Hi, friends 2』 - Lesson 7 We are good friends - の取り組みについて、小学校英語教育学会誌「JES JOURNAL vol.14」に実践報告が掲載されています。

その中から「外国語活動における英語劇」の記事を紹介します。

外国語活動に英語劇を取り入れることは、学習指導要領の外国語活動の目標である『コミュニケーション能力の素地を培う』上で効果的な手法である。西崎(2012)は、英語のセリフを劇で演じることは、『体験的に理解を深める』ことであり、相手を意識して演じることは『積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成』であり、セリフと劇の練習は「外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむ」ことであるとし、英語劇は外国語活動の目標に一致する活動であると述べている。

秋山(2010)は、外国語活動に英語劇を取り入れることは、好奇心(Curiosity)をもって自国・他国の文化(Culture)・言語に慣れ親しむことができ、友達とのコミュニケーション(Communication)を図り、協力(Corporation)して作品を完成させることにより、満足感(Contentment)を味わい、ひいてはそれが自信(Confidence)につながると言っている。そしてキーワードがすべて英語ではCで始まることから、外国語活動に英語劇を取り

入れることの意義を（6 C's）とまとめている。

外国語活動では、ほとんどの小学校で「英語」が学ばれているが、英語教育において英語劇が効果的な理由として、佐野(1990)は、①コミュニケーションにかかわる心理的要因を強化する、②「聞く」「話す」言語活動としてすぐれている、③非言語手段と結びつけて英語を理解し表現する、④場面や文脈のなかで英語を理解し表現する、⑤英語での自己表現力を伸ばす、⑥楽しみながら英語を学ぶことができる、⑦生徒に英語学習の目的意識と成功感を与える、⑧英語劇は ALT との共同作業の絶好の機会となる、という 8 点を挙げている。

#### 引用文献

西崎有多子「小学校英語活動における『桃太郎』を使った授業展開 英語劇化への過程と民話としての側面」『東邦学誌』第 41 巻第 3 号 I-21

秋山和江『コミュニケーションを図る楽しさを体験する外国語活動の在り方 英語劇を取り入れた活動を通して』山梨県総合教育センター

佐野正之『英語劇指導マニュアル』玉川大学出版部

このように英語劇が英語学習によい面を多く持つにもかかわらず、この教材が劇として扱われないで終わっていることがあります。その理由として「劇づくりには時間とエネルギーがいること」があげられています。

#### この実践報告のまとめに

Hi, friends! 2” の Lesson 7「オリジナルの物語を作ろう」は、卒業前で忙しくても、指導がたいへんであっても、多大の時間とエネルギーを注いで行う意味が十分ある。既習表現を駆使して友達と “We are good friends.” というテーマのオリジナル劇を作って演じ、下級生たちから拍手を浴び、達成感や満足感をもって中学に送り出すために、『桃太郎』のオリジナル劇を外国語学習の総復習だけでなく、6 年間の小学校生活の総仕上げとして、最大限に活用したいものだ。

と記述されています。

この報告集に記されている実践記録をじっくりと読んでいただきたいので印刷して配布したいと思っています。

例会で愛知県春日井市立神屋小学校の加藤先生が作られた『桃太郎』劇の実践記録 DVD（学習発表会バージョン）を視聴しました。この DVD は本会の根本孝女が作者の許可をいただいで保管しております。ご希望があれば見ていただくことができますので各学校担当支援者まで連絡ください。

「英語活動ニュース 9 号」を発行するのに前号から少し時間が空いてしまいました。私たちのホームページのリンクには、いろいろな情報が集まっています。実践研究会や楽しい実践に巡り合えます。どうぞ覗いてみてください。 大阪狭山小学校英語活動支援の会 代表・石井重光